令和７年度下水道事業会計収入支出決算状況

令和８年第３回定例会
決算特別委員会資料　第14号
下　　水　　道　　課

（1）収益的収入

（単位：円、税込み）

款	項	目	予算額 当初予算額	予算額 補正予算額	予算額 合計 A	決算(調定)額 B	収入済額	欠損金額	未収金額	執行率 B/A
1		下水道事業収益	2,515,251,000	10,447,000	2,525,698,000	2,507,054,545	2,391,920,603	1,199	115,110,643	99.3 %
	1	営業収益	1,944,164,000	10,447,000	1,954,611,000	1,931,641,211	1,816,529,369	1,199	115,110,643	98.8 %
		下水道使用料	1,421,960,000	0	1,421,960,000	1,398,534,811	1,288,264,869	1,199	110,268,743	98.4 %
		他会計負担金	512,453,000	0	512,453,000	514,509,000	514,509,000	0	0	100.4 %
		補助金	9,000,000	10,447,000	19,447,000	17,822,700	13,000,000	0	4,822,700	91.6 %
		その他営業収益	751,000	0	751,000	774,700	755,500	0	19,200	103.2 %
	2	営業外収益	571,087,000	0	571,087,000	575,413,334	575,391,234	0	0	100.8 %
		他会計補助金	36,760,000	0	36,760,000	34,704,000	34,704,000	0	0	94.4 %
		長期前受金戻入	534,327,000	0	534,327,000	540,687,234	540,687,234	0	0	101.2 %
		雑収益	0	0	0	22,100	22,100	0	0	皆増

※丸数字は前年度決算に比べ変動等のあるもので、提出事由は以下の理由による

〔提出事由〕
【収入】
①不納欠損額・未収金額があるもの。
②予算額（補正後）と収入済額に大幅な差があるもの。
③前年度と比較して、皆増、皆減があるなど、担当課で特に説明の必要があると認めるもの。
【支出】
①予算残額が100万円以上で執行率が90%以下のもの。
②予算残額が1,000万円以上で執行率が95%以下のもの。
③前年度と比較し、制度・事業内容の変更や決算額に大幅な変動があるなど、担当課で特に説明の必要があると認めるもの。
④その他、当該年度に係る未執行の経費や事業内容の変動等について、担当課で特に説明の必要があると認めるもの。
⑤令和7年度の予算書に計上されているにもかかわらず、事業全体の予算が未執行のもの。ただし、科目設置は除く。
⑥予算超過のあるもの。

（1）収益的収入
【使用料現年度分】徴収率は、92.1 %。
① 未収金額 ：110,268,743円 （7月末現在 ：109,415千円収入済）→収入未済額については例年並み。
【使用料過年度分】徴収率は、97.8 %。
① 未収金額 ： 2,001,170円。不納欠損額 ：521,904円。（時効消滅（5年）、居所不明、自己破産等）
【補助金、その他営業収益】
① いずれも現金収入が令和8年度であったため（5月末までにすべて収入済。）。
【雑収益】
③ 前年度事業分の消費税の確定申告に伴い還付加算金が発生したため。

【他会計負担金】…雨水処理に係る一般会計からの基準内繰出し。
【他会計補助金】…主に水質規制及び水洗普及費等に係る一般会計からの基準内繰出し。
【長期前受金戻入】…償却資産の取得にあたって補助金等が交付される場合には、当該補助金の交付額を全額交付時の収益とするのではなく、一旦、長期前受金（繰延収益）に計上し、固定資産の費用化（減価償却）に応じて長期前受金（負債）を取り崩し、長期前受金戻入（収益）を計上。

（2）収益的支出

（単位：円、税込み）

款	項	目	予算額 当初予算額	予算額 補正予算額	予算額 予備費支出額	予算額 流・充用額	予算額 合計 A	決算額 B	繰越額	不用額又は予算超過額	執行率 B/A
1		下水道事業費用	2,983,651,000	52,800,000	0	0	3,036,451,000	2,771,177,588	0	265,273,412	91.3 %
	1	営業費用	2,850,581,000	53,991,000	0	0	2,904,572,000	2,696,478,415	0	208,093,585	92.8 %
		管きょ費	310,507,000	74,000,000	0	0	384,507,000	287,868,176	0	96,638,824	74.9 %
		業務費	204,900,000	▲ 20,009,000	0	0	184,891,000	184,890,896	0	104	100.0 %
		総係費	86,287,000	0	0	0	86,287,000	74,949,182	0	11,337,818	86.9 %
		流域下水道管理運営費負担金	679,306,000	0	0	0	679,306,000	577,382,051	0	101,923,949	85.0 %
		減価償却費	1,566,081,000	0	0	0	1,566,081,000	1,562,958,403	0	3,122,597	99.8 %
		資産減耗費	3,500,000	0	0	0	3,500,000	8,429,707	0	▲ 4,929,707	240.8 %
	2	営業外費用	131,990,000	▲ 1,191,000	0	0	130,799,000	74,685,534	0	56,113,466	57.1 %
		支払利息及び企業債取扱諸費	46,349,000	▲ 1,191,000	0	0	45,158,000	44,589,706	0	568,294	98.7 %
		雑支出	27,000	0	0	0	27,000	35,428	0	▲ 8,428	131.2 %
		消費税及び地方消費税	85, 614, 000	0	0	0	85,614,000	30,060,400	0	55,553,600	35.1 %
	3	特別損失	80,000	0	0	0	80,000	13,639	0	66,361	17.0 %
		過年度損益修正損	80,000	0	0	0	80,000	13,639	0	66,361	17.0 %
	4	予備費	1,000,000	0	0	0	1,000,000	0	0	1,000,000	0.0 %

（2）収益的支出
【管きょ費】
② 工事請負費及び委託料（管きょ清掃）について、緊急対応に備えたため。
【総係費】
② 主に人事異動に伴い職員人件費の見込みを下回ったため。
【流域下水道管理運営費負担金】
② 金額算定の根拠となる雨水処理量が当初見込みを下回ったため。
【資産減耗費】
⑥ 開発事業による自費工事において撤去数量が当初見込みを上回ったため。
【雑支出】
⑥ 消費税納付税額算定において、非課税売上に係る仕入控除税額の減額調整が見込みを上回ったため。
【消費税及び地方消費税】
② 収支未確定の段階で、納付額の計算は困難であるため。

【減価償却費】管きょなどの構築物は耐用年数を50年、施設利用権は45年とした。

（3）資本的収入

（単位：円、税込み）

款	項	目	予算額 当初予算額	予算額 補正予算額	予算額 繰越額に係る財源充当額	予算額 合計 A	決算(調定)額 B	収入済額	未収金額	執行率 B/A
1		下水道事業資本的収入	697,126,000	▲ 153,310,000	0	543,816,000	364,677,350	255,195,350	109,482,000	67.1 %
	1	企業債	531,200,000	▲ 135,200,000	0	396,000,000	221,400,000	221,400,000	0	55.9 %
		建設改良費等企業債	531,200,000	▲ 135,200,000	0	396,000,000	221,400,000	221,400,000	0	55.9 %
	3	他会計補助金	24,876,000	0	0	24,876,000	24,875,000	24,875,000	0	100.0 %
		他会計補助金	24,875,000	0	0	24,875,000	24,875,000	24,875,000	0	100.0 %
		寄附金	1,000	0	0	1,000	0	0	0	0.0 %
	5	国庫等補助金	135,050,000	▲ 18,110,000	0	116,940,000	109,482,000	0	109,482,000	93.6 %
		国庫補助金	40,800,000	▲ 18,110,000	0	22,690,000	22,690,000	0	22,690,000	100.0 %
		都補助金	94,250,000	0	0	94,250,000	86,792,000	0	86,792,000	92.1 %
	6	負担金等	6,000,000	0	0	6,000,000	8,920,350	8,920,350	0	148.7 %
		受益者負担金	6,000,000	0	0	6,000,000	8,920,350	8,920,350	0	148.7 %
		流域下水道建設負担金	0	0	0	0	0	0	0	皆減

（3）資本的収入
【企業債】
② ストックマネジメント計画に係る工事の完了が年度末となり起債が行われなかったため。
【国庫等補助金】
① 現金収入が令和8年度であったため（5月末までに収入済み。）。
【負担金等】
③ 流域下水道建設負担金が令和6年度で終了したため皆減。

【他会計補助金】…特定企業債の元金償還額の一部を一般会計から基準内繰出し。
【流域下水道建設負担金】…立川市の下水処理施設を都流域下水道に編入するための清算金（令和6年度まで）。

（4）資本的支出

（単位：円、税込み）

款	項	目	予算額 当初予算額	予算額 補正予算額	予算額 予備費支出額	予算額 繰越額	予算額 合計 A	決算額 B	繰越額	不用額又は予算超過額	執行率 B/A
1		下水道事業資本的支出	1,102,520,000	▲ 63,382,000	0	0	1,039,138,000	886,516,958	0	152,621,042	85.3 %
	1	建設改良費	885,288,000	▲ 63,382,000	0	0	821,906,000	671,286,506	0	150,619,494	81.7 %
		管きょ建設改良費	741,404,000	▲ 39,958,000	0	0	701,446,000	550,827,923	0	150,618,077	78.5 %
		流域下水道建設負担金	143,884,000	▲ 23,424,000	0	0	120,460,000	120,458,583	0	1,417	100.0 %
	2	企業債償還金	215,232,000	0	0	0	215,232,000	215,230,452	0	1,548	100.0 %
		建設改良費等企業債償還金	208,544,000	0	0	0	208,544,000	208,542,952	0	1,048	100.0 %
		その他の企業債償還金	6,688,000	0	0	0	6,688,000	6,687,500	0	500	100.0 %
	5	予備費	2,000,000	0	0	0	2,000,000	0	0	2,000,000	0.0 %

（4）資本的支出
【管きょ建設改良費】
② 主にストックマネジメント計画に係る委託料について、当初見込みを下回ったため。